

2 沖縄県における地震の概要（主なもの）

	西暦年月日 (和 曆) (王 代)	震 源		規模 M m	地 震 の 概 要
		震央地名	深さ (km)		
1	1664 (寛文4) (尚質17)	沖縄島島付近	—	— m=1	死者1名、海底から噴火、津波
2	1667 (寛文7) (尚質20)	宮古島近海	—	— m=1	洲鎌村で早田が3尺沈下
3	1696. 6. 1 (元禄9. 5. 2) (尚貞28)	(宮古島)	—	— —	拝殿、寺院、仮屋などの石垣が崩壊
4	1760. 5. 15 (宝暦10. 4. 1) (尚穆 9)	沖縄本島近海	—	— —	石垣57箇所崩れる。余震あり
5	1768. 7. 22 (明和5. 6. 9) (尚穆17)	沖縄本島近海	—	— m=1	王城の石垣崩れる 津波により慶良間で田園と民家9戸損じる
6	1771. 4. 24 (明和8. 3. 10) (尚穆20)	石垣島近海	—	7.4 m=4	明和の大津波。(地震被害なし) 八重山：溺死者9,209名、流失家屋2,177戸 宮古：死者2,548名、流失家屋1,052戸
7	1842. 4. 17 (天保13. 3. 7) (尚育 8)	(宮古島)	—	— —	石垣の崩壊、数十回の余震
8	1882. 7. 25 (明治15)	沖縄島南部？	—	<6 —	那覇、首里で石垣倒壊約500箇所。首里城で石垣が90m崩壊 負傷者記録なし
9	1898. 9. 1 (明治31)	石垣島近海	—	7.0 —	石垣・宮古：家屋半壊2戸、石垣崩壊1,124箇所、山崩れ7カ所
10	1901. 6. 24 (明治34)	奄美大島近海	—	7.5 m=0	名瀬市で石垣の崩壊、瓦の墜落
11	1909. 8. 29 (明治42)	沖縄本島近海	—	6.2	死者2名、負傷者13名、石垣倒壊1,021箇所、家屋全壊7戸、半壊9戸
12	1911. 6. 15 (明治44)	奄美大島近海	100	8.0 m=1	奄美大島、喜界島、徳之島、沖縄島などで被害 死者12名、家屋全壊422戸、半壊561戸。奄美大島で小津波
13	1938. 6. 10 (昭和13)	宮古島近海	40	6.7 m=1	宮古島震度4、石垣島震度2、沖縄島一部で有感地震 津波により栈橋が流出
14	1947. 9. 27 (昭和22)	与那国島近海	95	7.4 —	石垣島：死者1名、石垣崩壊、山崩れ 西表島：死者4名、瓦の落下、地割れ、落石
15	1958. 3. 11 (昭和33)	石垣島近海	80	7.2 —	石垣島、宮古島、西表島で震度5 死者2名（宮古1、八重山1）、負傷者4名（宮古3、八重山1）、家屋破損、石垣・ブロック塀崩壊
16	1966. 3. 13 (昭和41)	与那国島近海	42	7.8 —	与那国島震度5、死者2名、家屋全壊1戸、半壊3戸、石垣崩壊23カ所
17	1970. 1. 1 (昭和45)	奄美大島近海	50	6.1 —	奄美大島：負傷者5名、崖崩れ4カ所。徳之島：崖崩れ 全体で住家一部破損 1,462戸
18	1992. 9. 17 ～1993. 1. 20 (平成4)	西表島近海	50	5.2 —	西表島北部沿岸を震源とする群発地震活動。 震度5（6回）をはじめ、総計1,336回の有感地震を観測 ブロック塀亀裂
19	1995. 10. 18～19 (平成7)	奄美大島近海	39 21	6.6 6.5	喜界島震度5 軽傷1名、崖崩れ7箇所、石垣崩れ91箇所
20	2010. 2. 27 (平成22)	沖縄本島近海	10	6.9 —	糸満市震度5弱 軽傷2名、家屋一部損壊、屋上水タンク落下、水道管破裂、石垣崩落等

※規模 M：地震の規模 m：津波の規模

【出典：「沖縄県における地震・津波・火山噴火資料（沖縄気象台）」を参考に作成】